スマイルオブキッズ通信

Vol.27

2021年12月発行

令和3年 師走に思う事

認定NPO法人スマイルオブキッズ　理事長　松尾忠雄

日頃より、病気や障害のあるお子さんとその家族の方々を支える活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。私たちの活動は、県立こども医療センター患者・家族滞在施設「リラのいえ」の運営事業、病気の子どものきょうだい児のための保育事業、家族との交流活動などです。これに加えてこの秋より、「リラのいえ」利用者の皆様に月2回お食事の無償提供をする事業を開始いたしました。

「スマイル・ミールサポート」と称して近隣の飲食店や料理の専門家の方々にご協力をお願いしたところ、快く参加していただけることになりました。また、今年度分（2021年9月～2022年3月）の予算を計上し、ご支援を募ったところ目標を上回る寄付が集まりました。関係者のご厚意により、「スマイル・ミールサポート」は順調にスタートすることができました。

入院中の子どもの付き添いに疲れて「リラのいえ」に帰った夜遅く、誰かが自分を思って作ってくれた温かい食事を食べてホッとできるひと時。「リラのいえ」は第二の我が家です。

今年の師走も「リラのいえ」をめぐる空気は皆様のおかげをもちまして温かいものとなりました。心より感謝申し上げます。皆様のご健康をお祈りいたします。

2021年夏、入り口階段下の桜の老木を伐採しました。見慣れた風景が変わり寂しくもありますが、安全を第一に。

横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち 完成のご報告

2017年4月よりスマイルオブキッズからこどもホスピス設立・運営活動に絞り、別法人として横浜こどもホスピスプロジェクトを設立し活動を始めました。お陰様で横浜市金沢区六浦東1-49-5に完成し、11月21日（日）落成式を執り行いました。

侍従川の河口で隣に室の木公園があり、平潟湾や野島公園を望む眺望の良い場所です。生命の脅かされた子どもと家族の療養生活支援施設として対象の家族に寄り添います。

認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト
代表理事　田川尚登

★お問い合わせ先：045-353-3153
横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち

特集　ミールサポート
～ ご支援ありがとうございました ～

リラのいえを利用するご家族のために、お弁当や調理を提供しようという試みに賛同して下さった方々からたくさんのご支援をいただきました。
7 月 1 日～ 8 月 31 日までのキャンペーン中にお寄せいただいたご寄付金は、目標金額を大きく上回る 736,720 円でした。あらためて心よりお礼申し上げます。

ミールサポートを始めて

皆様からのご支援と、この事業に協力したいという様々なお店からお声をいただき、本年９月からミールサポートをスタートすることができました。

ふだん、リラから病院へ向かうご家族は、とりあえずあるものでさっと食事を済ませているようですし、お帰りの時間が遅い方も多く、ご自身の食事のことを考える余裕のないご家族が少なくないようです。それでもボランティアがごはんだけは炊いて用意し、企業・個人の方のご厚意により、麺類やレトルトカレー、缶詰などが切れることのないダイニングなので、どんなに遅いお帰りでも何かしらの食事がとれる日常はとても安心です。ただ、ご利用が長くなりますと、お野菜の煮物や、あたたかい汁ものがあるとちょっとほっとできるのかな、と感じることがありました。

ミールサポートを始めるにあたり、お店との打ち合わせでは、どのようなお弁当を届けたらよいかという思いが熱心に伝わり、ただ人数分作るという作業だけではない、支援の気持ちを深く感じました。

お弁当は、季節のお野菜や果物が入りバランスの良い献立で、また素材や調味料などにも気を配っていただいていたり、美味しいデザートまでつくることがあったりと、お店ごとの工夫とお食事を提供する方への思いやりにあふれているようでした。出張調理では、たくさんの安心な食材を用意していただき、みるみるうちにお母さんの手料理といったお惣菜がお皿に入りきらないほど何品も出来上がり、ご家族を応援したい思いにあふれているようでした。

リラに帰られて、お弁当を目にしたご家族は皆さん自然と笑みがこぼれ、その日の夕食は、心までもが穏やかに満たされる、そんな時間を過ごされていたのかな・・・と思います。
お母さまと一緒に長く滞在されていたお子さん方は、初めてお弁当が届いた夕食では、よそ見もせずにパクパクと食べているので、同じ時間に居合わせたお母さま同士が、もちろん離れたテーブルではありますが、お子さんのこれまでの医療のこと、子育ての思いなどをゆっくりお話しされていました。

日々お子さんの付き添い看病で一日過ごされているご家族に、「あなたのために作ったお弁当」で心と体に栄養を届けたい、ミールサポートに関わる方々からそのような思いが伝わってくるのです。

（リラのいえボランティア　高坂 ひろみ）

利用者さんから、嬉しいお声をいただいています

- 心が少し疲れて帰って来ましたが、作っていただいたお弁当を食べ、ほっと、しました。
- どんな方々の温かいご支援で、こんなに嬉しいサプライズを頂けるのか、どなたにお礼をお伝えすればいいのか…唯唯、感謝です。
- こんなに豪華なお弁当がいただけて感謝しております。

協力店の声①「こまちカフェ」さま

「こまちカフェ」は横浜市戸塚区で認定NPO法人こまちぷらすが運営する小さなカフェです。「子育てが『まちの力』で豊かになる社会」の実現を目指す事業の一つとして、子育て中の親御さん達にリフレッシュしてもらえる工夫をしながら営業しています。ランチタイムには、戸塚区内の農園から仕入れたお野菜を中心としたプレートランチやカレーをお出ししています。卵・乳製品・小麦粉不使用なので、アレルギーのある子も一緒に食事を楽しめるよう仕上がっています。

今回ミールサポートでお届けしたのは、普段のプレートランチをベースに開発したお弁当やスイーツでした。コロナ禍でも子育て中の方々やまちの方々とつながっていきたいと考えてテイクアウトを行っているので、このお弁当を通じて直接はお会いできないリラのいえの利用者の皆さんとつながることができ、とても嬉しく思っています。召し上がられた感想や素敵なイラスト付きのお礼のお手紙も頂戴し、とても温かい気持ちになりました。次回もし可能であれば、こまちカフェのプレートごと、出前のようにお持ちできないかとも検討しています。

それぞれのご家庭によって子育てを取り巻く環境は異なりますが、どなたにとっても子育てが「まち」の力で豊かになるよう、親御さんたちに笑顔になっていただけるよう、これからも心を込めてお食事をお作りしていきたいと思います。

認定NPO法人こまちぷらす　店長　守家文子

協力店の声②「にんじん」さま

おそらく、にんじん始まって以来の出張先での食事作りをさせていただきました。ご要望を聞いたところ、野菜を多目にということでしたので、お弁当のメニューにある副菜を組み合わせてみました。

調理の熱源がIHであることをすっかり忘れており、ちょっと戸惑いましたが、ボランティアの皆さまの積極的なサポートにより、大変スムーズに調理がはかどり、ほぼ時間通りに食事ができあがりました。また初めてお会いしたばかりのボランティアさんたちに助けられ、私もスタッフも楽しく調理をさせていただきました。ありがとうございました。片付けのほうも素早くできましたのも、ボランティアの皆さまのお陰でした。あっという間に二時間が過ぎ、盛り付けをボランティアさんにしていただき、食事作りが無事に終えることができました。

利用者の皆さんにこの食事が気に入っていただけたら、何よりうれしいです。

食材の安心、安全に関しましては、日頃私たちの大切にしていることですが、いろいろな価値観のある中ご理解をいただいていることに感謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

ミズキャロット　みなみブランチ　石渡順子

ご協力いただいた店舗：にんじん・こまちカフェ／町っ子・あしな・関寿し（弘明寺かんのん通り商店街）

精神的な支えとなることを願って

神奈川県立
こども医療センター
事務局長
八尋 有造

9月末に緊急事態宣言が全面解除され、市中では人の動きが徐々に活発化しており、当センターでも面会制限を一部緩和することになりましたが、きょうだい児預かりは未だ再開できていません。新型コロナウイルスの感染状況の変化には今後も注視が必要で、引き続き感染防止対策を徹底し、万全の備えで患者さんを受け入れられるように努めて参ります。

神奈川県立こども医療センターは、重度の先天異常の患者など、他の医療機関では治療が困難な患者を積極的に受け入れており、首都圏だけでなく北海道や九州など遠方からの患者も少なくありません。「リラのいえ」は、そうしたご家族の負担を軽減し、安心して治療を受けていただくために大変重要な役割を担っていただいています。センターとしても、施設の管理運営にしっかり協力するとともに、連携をより一層強化することで、お子さんが治療に専念できる環境をつくりたいと考えています。

今年10月、当センターは、ニューズウィーク誌「World's Best Hospitals 2022」の小児科部門で75位に選ばれました。日本の病院では国立成育医療研究センターの68位に次ぎ2位となり、世界的にも高い評価を得たことは大変名誉なことです。現在、小児がん拠点病院としての機能を強化するため、リニアック（放射線治療装置）の整備を進めていますが、先進医療に必要な環境整備とともに、他の医療機関との連携を強化しながら、質の高い医療と支援を提供できるよう取り組んでまいります。

6月に開催された恒例のチャリティコンサートでは、関孝弘さんの素晴らしいピアノ演奏とともに、リラのいえの体験談を利用者からお聞きし、施設の存在意義や活動の大切さ、そして精神的な支えであることを再認識することができました。今後も様々な交流を通じ、リラのいえの活動を広く知ってもらうことで、支援の輪がより一層広がることを期待しています。

こども医療センターの食事をご紹介します

神奈川県立こども医療センター
栄養管理科 科長
木場 美紀

栄養管理科では、乳幼児から学齢児、妊産婦さんまで、たくさんの種類の食事とミルクを毎日作り、届けています。

必要な栄養バランスや彩り、季節感を考えながら、成長発達に合わせて、使用する食材を選び、味付けや切り方を変えています。噛むことや飲み込むことが難しい方には、食事をミキサーにかけます。料理ごとにペーストにし、きれいに盛り付けます。

「また出して！」と声がかかるのは、唐揚げ、ラーメン、揚げパン、ナン、ピザ……幼児さんは味噌汁と納豆（！）が大好きです。

養護学校の授業やお散歩で、厨房に来てくれた時には、自分の背丈よりも大きなしゃもじを持って大喜び、質問もたくさんしてくれます。自分の食事に興味を持ってくれることが、嬉しいひと時です。

入院中は、疾患やその治療のために、食べることが困難になったり、入院が長期化して食事に飽きてしまうこともあります。少しでも楽しく食事をとの思いから、病棟や院内と協力して行なうのがイベント食です。感染防止のため、以前のように集まってバイキングや流しそうめんはできませんが、最近ではおやつのミニバイキングや、ラーメン、ソフトクリーム、おでん屋さんを楽しみました。普段の給食では難しい、個々のリクエストに直接応えたり、味やトッピングなど自分で選べるような工夫を考えます。また制限食やアレルギー、食形態の問題で参加が難しい方への配慮などが必要です。毎回、栄養士や調理師の手作り感満載ですが、保育士さんとこども達によるポスターや飾りつけはとても素敵です。

スマイル・ミールサポートの【「食」を通じて家族のがんばりを支えたい】の思いと同様に、病院の給食も患者様の気持ちに寄り添う食事でありたいと思います。

おでん屋さん。

好きな果物とトッピングを盛り付けしたフルーツパーラー。

こども達が描いたハロウィンクッキー。

チャリティーコンサート

コロナ禍でも安心してピアノの演奏をお楽しみいただくため様々な対策を講じました。お席は定員の半分をご用意、来場者にはご自宅での検温と問診票記入をお願い致しました。利用者の声をご講演いただいたのは、リラのいえ利用中に出産、パパさんと一緒に滞在し、毎日 NICU に通われたママさん。自宅に帰り３か月でお空に見送った娘さんの、生きた軌跡を伝えてくださいました。
（6 月 26 日開催／会場：はまぎんホールヴィアマーレ／出演：関孝弘／参加者：150 名）

ふれあいコンサート

毎年夏休みに、重症心身障がい児とそのご家族をご招待するゴスペルコンサート。昨年に引き続きご招待は控えましたが、いつものラポールシアターでコンサートを録画、YouTube 限定配信でご家族にお届けしました。ご出演は The Voices of Japan(VOJA) の皆さん。画面を通して、お子さんとご家族に大きな力を受け取っていただきました。
（協賛：神奈川福祉事業協会・（株）ひまわり交通　ほか）

バザー

10/24 リラのいえテラスにて開催。開設以来続くイベントは、1 年ぶりでもスタッフの手際のよい準備であっという間に賑やかな会場が整いました。全国からこの日のために寄せられた品物たくさん。来場者の皆様に久しぶりのお買い物を楽しんでいただけました。売上は 140,440 円でした。リラのいえの運営資金として、大切に使わせていただきます。

利用者の声

Owner of a kind heart　優しい心の持ち主　山本 万美さん

東京都町田市から利用させて頂いております。

お世話になって三回目となります。一人っ子の長男（3 歳）は生まれつき心臓の部屋のない単心室、また生まれつき脾臓のない無脾症など、複雑な心奇形を持っています。今現在、在宅酸素生活をして過ごしています。

今年の５月のカテーテル術後、二週間後に心臓血管外科手術を控えていました。しかしその後、子どもが胃腸炎のようなものに罹ってしまい、私もこの調子で外科手術が出来るのかどうかと心配しながら準備をして病院へ向かったところ、やはり主治医の先生から入院できないという事でした。

リラのいえの施設長さんにキャンセルの事を伝えに行った時、「他の親御さんもキャンセルで帰られたことがありますよ、大丈夫大丈夫。」と、暗くなっている私たち親子に優しく、そして明るく励ましてもらいました。

今年の 10 月にとうとう外科手術が行われ、ICU から大部屋に移った後も子どもが偏食で病院食を何も食べられず、空腹をお茶を飲んでごまかしながら過ごしている。とお話しした時は、施設長さんも一緒になって悩んでくださり、先生にもこういう風に訴えたほうがいいなど、本当に自分の事の様に考えてくださいました。

特に思い出すのは ICU に入院している時、夜病院から帰るとお弁当が置いてありました。私は久しぶりに美味しい食事が出来たこと、ICU にいる子どものことなどを考えながら、じわじわと涙を流しながら頂きました。あの美味しさは今でも忘れられません。本当に本当に美味しいお弁当でした。

皆様に支えられ、これからの入院生活をもう少し、まだ頑張れそうです。ありがとうございます。これからの未来がもっと明るくなりますように。

皆様に心から感謝を。

きょうだい児支援シンポジウム
～きょうだい児支援の繋がりを深める～

レポート、アンケート集計、きょうだいさんへのメッセージはスマイルオブキッズ HP で公開しています。

2021 年 10 月 2 日（土） リラのいえよりオンライン配信　141 名参加。かながわボランタリー活動推進基金 21 ボランタリー活動補助金の助成を受けて開催。パネルディスカッションでは、『きょうだい支援「たて・よこ・ななめ」の繋がり』をテーマに話し合いました。リラのいえきょうだい児保育の利用者で、シンポジウムにもご参加いただいたお母さまの声をご紹介致します。

たて・よこ・ななめの繋がりとリラのいえの思い出　永吉 野乃美さん

約４年前に先天性心疾患の次男が産まれ、当時長女が４歳、長男が２歳。長男の預け先に困っていた時に紹介頂いたのがリラのいえでした。

初めての預かりの日、離れる時に少し泣いていた長男に後ろめたさを感じながら面会に行きました。けどお迎えの時にその心配はすぐに吹き飛びました。長男はとても楽しそうに遊んでおり、驚くべき事に保育の報告書には細かな事までビッチリ書かれていました。その日からリラのいえのヘビーユーザーとなり、長男の入園後もより長く面会に行けるように「放課後はリラのいえ」が兄弟のお決まりコースになりました。

よく「２人とも預かりが嫌じゃないのか？」と聞かれる事が多かったですが、我が家では、次男が手術と入退院が多く、弟が再入院し初めての預かりの時に兄弟達が嫌と言う事が多かったです。けれども嫌がる兄弟達に保育士さんは魅力的な遊びや工作を提案してくれたり、「ママの近くまで」と病院までお散歩してくれたりしました。保育時間が長いときは室内だけではなく外遊びや公園など色々な遊びを提供してくれました。そして帰りの際には「次は〇〇で遊ぼうね」と。その声掛けや沢山工夫して下さった遊びのお陰で１度は嫌になってもまた楽しみにリラのいえに行くことが出来ていました。

きょうだい児だけでなく私自身も沢山支えてもらい、話をあまりしたくない時はそっと温かいお茶を出してくれたり、病状が日々変化するのと同じでその日その日で変化する私の気持ちを汲み取ってくれたり。そっと側に寄り添ってくれるそのあたたかさと居心地の良さには何度も救われました。

病児の育児は孤独になりやすいですが、こども医療センターには沢山の職種の方々が「たて・よこ・ななめの繋がり」で私達の抱えている気持ちの荷物を皆で分担し支えてくれます。頼るのにも勇気がいるかもしれませんが是非１歩踏み出して、皆様の心が少しでも軽くなり、病児、きょうだい児、ご両親、ご家族皆が笑顔で過ごせる時間が増えることを願っております。

終わりになりますが、今まで私達家族を支え共に闘って下さった皆様に深く御礼を申し上げます。

きょうだい児保育　繋がりたい時に、繋がりたい人と場に出会えますように

今日も保育室には、色々なきょうだいさん達の声が聞こえてきます。早朝の手術のため夜明け前に出発してきた子。急な入院のため、慌ただしくやって来た子。入退院の繰り返しで通い続けている子もいます。いつもと違う様子を、どの年齢のきょうだいさんも、きっと感じているでしょう。
どんな感情も押し込めることなく、安心して出せる場でありますように。そして楽しい時間が過ごせますように。と、きょうだいさんとご家族に向き合う日々です。

夢中に遊んで、気持ちがほころんでくると「あのね。」と、しまっていたものが開く時があります。放たれた気持ちを、ちゃんと手のひらでキャッチ出来ているでしょうか？
シンポジウムは今回で３回目になりました。ご参加の皆様も含め、こんなにもたくさんの温かな手のひら。本当に嬉しい思いです。心に響く実践の数々。ユニークな支援の形。まだまだ知らない事がいっぱいありそうです。

たて・よこ・ななめの繋がりが、広がれば広がるほど、色も形も豊かな場が生まれて来ます。リラのいえに来る小さなきょうだいさん達も、一人として同じ背景はなく、成長と共に状況も心境も変化していく事でしょう。様々な繋がり先が見えれば、自由自在に気持ちの思うまま、必要があれば、繋がりたい人と場に出会える。そんな色とりどりの繋がりを想像しながら、まずは、お隣の人と手を繋ごうと思います。

（リラのいえ保育士　玉﨑 麻利江）

ご寄付一覧

ご寄付一覧（敬称略）
（2021年6月～2021年10月）
ご支援、ありがとうございました

【寄付・賛助によるご支援者】

6月：大住猛雄・多紀子／大木宏之／吉田久美子／安保さよ子／小林整治／北見雅則／堀川浩邦・恵子／杉山恵子／伊藤紘一／加用真実／後藤浩之／星野利勝／川村征雄／工藤弥生／山本文子／横谷律子／塩見あき子／澤岡悠紀子／鈴木喜子／横山朋美／KAインターナショナル／小笠原育代／武内法律事務所武内大佳／松本美和子／松下能子／若狭静枝／喜入久美子／森田知子／川崎智晴／内山玉江／小牧誉弘／柴田文子／柴田豊子／山田みちよ／長嶋健志／江波戸圭子／熊切正志／豊田順司法書士事務所／林勝／高野久美子／長南和子／大野美樹／石川礼子／西井弘／沼沢静江／鈴木久美子／園部かおる／上手惠子／苣野円満／豊田弘子／熊澤美香／森清治／阿出川俊夫／山室陽子／浅見ひろみ／天海百合子／吉村みち子／伊藤久史／松本真理子／藤井耕介／髙石直美／渡邊陽子／藤井由美子／大津雅弘／金子サキ／鈴木広乃／安達かほる／池田龍子／布施菊子／水谷透／塩森芳枝／一色広子／茂田悦子／三浦則子／（株）柴橋商会／茨木良枝／長谷川由香里／有富梨恵／山田怜／小松眞弓／鎌田慎次／進藤喜子／千葉洋子／高尾節子／氏家ゆり子／岡本博史／皆川久子／宮道不二男・京子／小川副代／江川日登美／早川五三六／藤田和夫／藤田道子／武藤由美子／鹿島克郎／三杉信子／中川恵理子／アベジュンコ／大平力／中島貞子／渡辺幸子／宇野康子／鳥谷美代子／清水淳子／医療法人社団咲陽会／ふかわ矯正歯科／佐藤光雄・晴美／吉田眞弓／開上光代／永井麻美／福島とも子／齊藤雅美／島田啓子／安西久子／川田妙子／関秀紀／進藤康夫／石北美弥子／栢尾美恵子／安嶋裕美／天谷幸子／塚本奈央子・望愛／松尾忠雄／山﨑眞理江／岡村のり子／駒形真貴子／匿名／中島敏夫／笛吹美千子／石川雄治／アニメイト（株）／米山勝子／松永朱美／清水久美子／高瀬ナオ美／（株）トミ・管理サービス／花輪恒子／吉富鈴江／岩田慶隆／田中寧子／匿名／宇田永治／（株）アジアンライズジャパン／岩崎純士／鈴木昌則／星直子／日村結夏子

7月：（株）アジアンライズジャパン／St. IgnatiusCatholicChurch／さいとう小児科齋藤綾子／はんのゆうだい／ひまわり交通（株）／安井泰子／安東隆子／伊澤リヨ／宇野江津子／横山新一郎／横浜和夫／岡和子／丸茂弘子／岸厚子／幾度すぎえ／吉村純子／吉田賢一・聡／吉野清美／及川浩次郎／駒形真貴子／熊切正志／原公泰／弘正明／香山一江／高橋孝子／高見沢のり子／高尾節子／高木安希／黒澤健司／根本富雄／佐々木髙行／佐藤とく／佐伯トシコ／細井富男／細谷和一郎／三ヶ尻美穂／山田しのぶ／志澤直樹／鹿嶋美由紀／篠崎暁子／若狭静枝／酒井一夫／酒井伴美／秀島勇治／住田勝美／升澤かほる／小山田豊／小林整治／松丸和子／松江さや子／松田幸子／松尾忠雄／松本剛／松野美知子／上久保ふじえ／森郁子／森晃一／水戸陽子／菅谷仁見／西尾博／青木茂／石川基子／川島勝美／泉水恭子／銭林愛／曽根晶子／倉田真実／大井美嬉子／大崎逸朗／大嶋博之／大野乃里子／滝沢たか子／池田龍子／中尾和子／長坂進／田川いつ子／渡辺さなえ／土屋博嗣／湯川仁／匿名／樋口とみ子／武川幸子／風間美矢子／福井友子／福田かおる／福島恒男／平野まり子／平野辰子／平野和之／米山潔／野崎廣子／野沢三千子／矢島美代／（有）仁天堂薬局湯川仁／鈴木郁男・市子／鈴木将彦・瑞穂／國武洋子／澤田大輔／眞岸冨子／下向和子／横溝実都江／吉田健一／匿名

8月：RunforKids／伊藤和弘／井上秀枝／下出和治／駒形真貴子／戸田久嗣／工藤弥生／肱岡あさ子／高尾節子／黒田節代／黒田靖／今村恭子／佐藤光雄・晴美／小瀬村芳明／小林整治／松尾忠雄／沼沢静江／清水真理／石井智巳／大黒千代／谷口円香／中村武美／田川正志／島谷健一／東北醤油（株）／匿名／鍋井衛子／米山勝子／片寄直子／矢島千恵子／脇有範／檜佐幸子／髙橋房子／浅岡浩行／安達かほる／小木曽正子

9月：（株）アジアンライズジャパン／安保さよ子／稲葉啓／加藤民幸／宮沢貞雄／駒形真貴子／後藤浩之／高市方子／高尾節子／佐藤光雄／佐伯トシコ／山田美智子／柴田豊子／小金丸輝久／小林整治／松尾忠雄／星百合子／村瀬毅／湯川保子／藤田秀明／藤田裕美子／内田稔／鍋島絢子／福田かおる／本間武弘／本間武二／林浩康／福田孝将／野中順一郎

10月：松島より子／（株）アジアンライズジャパン／ちあふぁみ！／安保絵里／横山悟一／下出和治／笠原友子／鎌田慎次／岩瀬泰子／駒形真貴子／匿名／志澤直樹／寺島靖男／重森大成／小西昌樹／小林整治／松井佑子／松尾忠雄／赤木和子／千葉洋子／川村征雄／大神正史／辻政代・百合江／渡辺弘美／藤尾好美／匿名／匿名／幡多緑／福田かおる／福島可奈子／牧野光昭

【ミールサポートへの寄付】

笛吹美千子／安藤弘子／伊藤紘一／塩森芳枝／塩谷えり子／横山新一郎／横田美和子／岩崎幸代／幾度すぎえ／吉松健行／吉森英孝／吉田賢一・聡／宮﨑祥司／玉﨑麻利江／原公泰／江波戸洋子／高見沢のり子／高尾節子／高木安希／佐々木髙行／佐藤隆夫／佐藤和子／三浦美奈子／山浦章子／山田しのぶ／山﨑眞理江／市川利子／志澤直樹／寺村昌子／鹿嶋美由紀／室井佳子／篠崎暁子／十文字貞夫／松江さや子／松田幸子／森みどり／森田知子／水島朝子／杉山恵子／菅谷仁見／清水紀子／清野雪花／西井弘／西田大介／青木茂／青柳充彦／石橋一子／石原実／浅川冨美子／浅村澄子／曽我紘一／倉田真実／早川禎子／大久保照子／大野乃里子／長谷川拓磨／津呂正代／匿名／内田稔／幡多緑／樋口とみ子／武舎澄江／風間美矢子／福田かおる／平野まり子／北村弘之／本多知子／澤岡悠紀子／澤田大輔／白川光政／竹内義宣／古本教子／平出朋代／光原ゆき／北河徳彦／小林二美江／樅田文子／児玉のどか／石川樹里／梅津富多美／（株）アキヨシホーム／満永文

【マンスリーサポーター愛する子ども達おうえん団（毎月の寄付）】

神原雅美／鈴木有子／齊藤進治／長嶋健志／髙木翔子／匿名／太田優子／田中義俊／医療法人鳳珠会／木村裕毅／有田佐智／木全重樹／野口信恵／浅村澄子／三井美恵子／中野学／鳥澤竹彦／笠原美香／大賀賢一郎／渡邉豊／有田浩美／後藤裕明／谷畑育子／藤木和子／溝部樹／北田将文／安嶋裕美／小林二美江／樅田文子／松前克俊／小木曽正子／石川樹里／影山勇気／山本光

○よこはま夢ファンド
○かながわ県立病院小児医療基金
○かながわボランタリー活動推進基金21

【物品寄付によるご支援者】

6月：熊谷美智代／芹澤功子／NPO法人美輪の会／沼沢静江／塩森芳枝／匿名／藤井由美子／長嶋健志／林三恵子／岡村真央／（株）横濱屋／岡三証券（株）／（株）だいこう証券／酒井嘉子／沼沢静江／菅野恵美

7月：（株）柴橋商会／根本富雄／相良均治／匿名／沼沢静江／浅川冨美子／武藤由美子／林三恵子／田中勢津子／岡三証券（株）／三木証券（株）／亀井洋子／みんなのレモネードの会／三浦美奈子／沼沢静江／永井大樹・理恵／佐藤美津子

8月：児玉あみ／（株）だいこう証券／武藤由美子／乙川篤子／BABY&Me／吉田ゆかり／匿名／山本文子／東條知美／亀井めぐみ／山田みちよ／匿名／相良均治／匿名／今井真利子／武藤由美子／満永文／三浦裕子／小澤愛子／大文字貞夫／匿名

9月：長嶋健志／横山英史／田中加奈子／藤森敏子／髙石直美／矢永由美／相浦やよい／江波戸洋子／花王（株）社会貢献部／髙橋和子／山本文子／米永明恵／佐藤美津子／佐藤ペティー／三浦裕子／小島彩耶／武田香織／マテルインターナショナル（株）／長嶋健志

10月：平川愛／（株）ミツバ／NPO法人美輪の会／岡本真弓／大江まみ子／佐藤美津子／佐藤誠洋／香山一江／林三恵子／草場春美／白谷弥生子／匿名／山下／中鉢／鶴田恵爾子／吉田久恵／草野南／先﨑真由美／米谷美恵／佐藤美津子／鈴木悠子／芹澤功子／林三恵子／二木昌子／カジマ／（株）ミツバ／岡田いずみ／星野洋子／ポッカサッポロフード&ビバレッジ／大橋彩乃・康代／矢永由美／（有）仁天堂薬局湯川仁

その他のご支援

◇（株）日立製作所様：認定NPO法人サービスグラント様のプロジェクトで、業務改善のためのプロボノ支援をいただいています。
◇ちあふぁみ！：医療センタースタッフ有志による小児がんの子どもを地域で応援するプロジェクト。ボランティア活動への協力や物品寄付など様々なお力をいただいています
◇（株）東横商事様：月に2回、食品・消耗品の提供をいただいています。（レトルト食品200食・ミネラルウォーター1200本・パックごはん230食・カップ麺240食・栄養補助食品180個）
◇フードバンクかながわ様：沢山の食材をいただきました。
◇リラのいえボランティア・保育士より、日用品・食材・お花などを提供いただいています。

ご寄付をお振込いただいた支援者様には礼状と領収証をお送りしておりますが、ご不要の場合は、振込用紙に「領収証不要」とご記入下さい。会報のご寄付一覧にはお名前を掲載させていただきます。

■リラのいえ・利用状況（2021 年 6 月～ 2021 年 10 月）

月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
家族数	25	20	30	17	22
宿泊者（利用者数）	384	348	372	210	283
稼働率	86.0%	69.0%	61.9%	32.0%	49.4%

■きょうだい児預かり保育・利用状況（2021 年 6 月～ 2021 年 10 月）

月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
利用人数	35	69	70	67	72
時間	113.5	216	225	188.5	203.5

■各種会議日程報告

スマイルオブキッズ総会 (6/15) ／**スマイルオブキッズ理事会** (7/20・9/24) ／**こども医療センター・滞在施設運営会議** (6/15・7/20・8/17・9/21・10/19) ／**きょうだい児支援連絡会** (8/17) ／**スマイルオブキッズ運営会議** (6/11・7/9・8/13・9/10・10/8) ／保育話し合い (6/28・7/26・8/23・9/29・10/27)

* 感染拡大防止のため、オンライン会議システム等を活用しました。

支援サポートのお願い

（賛助金・寄付金には税額控除が受けられます）

【リラのいえ運営・保育・音楽支援事業のための募金口座】

ゆうちょ銀行振替払込口座番号：00250-0-113817
他金融機関からの振込口座番号：店名／ 029　口座番号／ (当座) 0113817
加入者名：NPO 法人　スマイルオブキッズ

◇正会員 (年会費 1 口 1,000 円× 3 口以上)：
法人の目的に賛同する会員。法人の社員となり総会の議決権があります。
◇賛助会員 (年会費 1 口 5,000 円)：事業を賛助する会員。サポート会員とも言います。
◇寄付：いつでも、おいくらからでも受け付けております。
◇遺贈についてのご相談も継続して承っております。

寄付のクレジットカード決済はこちらより行えます。

【クレジットカード決済によるご寄付の受付も始めました】

クレジットカードを利用してご寄付いただけます。右記ＱＲコードにアクセスしてください。
◇マンスリーサポーター「愛する子ども達おうえん団」：寄付頻度「毎月」を選択すると、毎月 500 円から継続的にご支援いただけます。初回の入金確認後、「団員証」を郵送致します。
◇マンスリーサポーター限定、メルマガ配信を開始しました。
◇「今回のみ」のご寄付も受け付けています。

【物品寄付のサポート】

◇施設で使用する物品の提供 (生活消耗品、期限内の食品、未使用の切手など)
◇バザー用品の提供 (消耗品・バスタオル他雑貨・衣類　＊すべて新品・未使用)

【労力・時間を提供するサポート】

◇施設内外の管理・環境整備（草取り・お花の手入れ等）
◇専門技術の提供 (ヘアカット・料理・バザーの手作り品)

御礼　会報 26 号で募集致しました、鯉のぼりとだっこひものご寄付をいただきました。鯉のぼりはお空にいるお子さんからのプレゼント、だっこひもはリラのいえ利用者さんからのご紹介によるものです。ご厚意に心より感謝し、大切に使わせていただきます。

○スマイルオブキッズ HP　https://www.smileofkids.jp/
○ Facebook・Twitter でも最新情報をお届けしています！

@ smileofkids　@ lilanoie

会報発行者：認定特定非営利活動法人　スマイルオブキッズ
〒 232-0066　神奈川県横浜市南区六ッ川 4 丁目 1124-2 電話・FAX：045-824-6014
http://www.smileofkids.jp/　e-mail：toiawase@smileofkids.jp ／編集担当：（株）ユック舎